

# 宮代町データヘルス計画の保健事業の状況について

平成30年第4回国保運営協議会 資料2

具体的な取り組み	H29年度進捗状況	H30年度	H31年度	課題	事業効果
<b>重複・多受診者対策事業</b> 高齢世帯への適正な受診勧奨、健康管理支援を行うため、面接・電話・手紙等により総合的な健康問題の把握、疾患への理解、療養上の相談、服薬等の健康管理を実施。	<b>【進捗状況】</b> 重複・多受診の適正化に関するPRチラシを送付。柔道整復受診者のうち、重複・多受診が疑われる方に受診状況調査を実施	<b>【成果目標】</b> ・重複、他受診者等名簿作成 ・重点指導者の状況確認 ・年2回 <b>【進捗状況】</b> ・8、2月に訪問による健康相談を実施 ・国保連合会の保健師の派遣協力により実施	<b>【成果目標】</b> ・継続	・実施後の評価 ・国保連保健師の派遣をいつまで続けるか？ ・町の保健師で実施する体制づくり	医療費、調剤費の抑制に繋がることが期待できるが、H30年度の新規事業により、実績データ不足のため比較が不可
<b>ジェネリック医薬品普及促進事業</b> ジェネリック医薬品の利用率の向上を目指し、差額通知の送付、希望シール・啓発リーフレットの配布により周知を図る。	<b>【進捗状況】</b> ・差額通知：7月発送(375件) ・希望シール、リーフレット：国保加入手続き時に全員に配布(1,056件) ・利用割合：69%(H29.12月審査分)	<b>【成果目標】</b> ・薬剤師会との連携を検討 ・利用割合65% <b>【進捗状況】</b> 薬剤師会の取組み状況について意見交換を実施。	<b>【成果目標】</b> ・利用割合70%	H30.3月末の数量シェアで72%。県市町村平均が74.4%で下回っている。 ・利用割合の目標を上げるため、新たな取組みが必要。	連合会の試算で、数量シェアを10%UPすると年間1200万円の削減  H31までに目標82% H30、31の2カ年で1200万円の削減
<b>生活習慣病重症化予防対策事業</b> 糖尿病の重症化予防及び人口透析への移行防止を図るため、特定健診結果とレセプト情報から糖尿病のリスクの高い未受診者・受診中断者に対する医療機関への受診勧奨を行う。糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い(ハイリスク)者への生活指導を行う。 ※埼玉県、国保連合会との共同作業	<b>【進捗状況】</b> ・未受診者への受診勧奨：6月実施(28名中9名が受診済、1名が受診了承) ・ハイリスク者への生活指導：6月に参加勧奨を実施(83名中13名が生活指導実施中)	<b>【成果目標】</b> ・生活指導の実施率対象者の12% <b>【進捗状況】</b> H30対象者に受診勧奨通知を発送(未受診者35、中断者7)	<b>【成果目標】</b> ・生活指導の実施率対象者の18%	・H28、29参加者の成果分析が必要 ・県がH30末に公表する予定 ・2年目、3年目の参加者に対する継続支援の充実	現段階では、医療費の比較は不可。年度末に県で医療費効果を公表予定。ちなみに、H29の特定健診の結果が基本項目9項目のうち、前回の数値を下回った項目が3項目以上ある人9/12
<b>血糖コントロール教室</b> 糖尿病の発症予防に向けた生活習慣の改善を支援するため、糖尿病に関する正しい知識の習得、食生活改善に向けた調理実習、採血を5ヶ月間実施する。	<b>【進捗状況】</b> 改善率95.1%(評価対象者名、該当者29名)	<b>【成果目標】</b> ・教室参加者前後の改善率90%	<b>【成果目標】</b> ・教室参加者前後の改善率90%	・参加者の拡大	現段階では医療費の比較は不可
<b>特定健康診査受診率向上事業</b> 受診率の向上を図るため、受診期間、受診日の工夫、広報、HP、回覧における周知、40～60代未受診者への受診勧奨、職場等での健診結果受領の具体策の検討、特定健診自己負担額の無料化、健康マイレージシステム事業へ参加(埼玉県共同事業)、検査項目の検討(口腔ケアなど)、かかりつけ医師との連携による診療情報提供の検討、地区別受診状況調査による受診勧奨を実施する。	<b>【進捗状況】</b> ・自己負担無料化実施 ・全未受診者への受診勧奨実施(8～10月の間に3回)：受診率前年比+2.6%(H30.5現在42.2%10月末に最終報告) ・職場等健診結果の提供依頼広報の開始 ・コバトン健康マイレージ参加勧奨を集団健診に合せて実施	<b>【成果目標】</b> 実施率45%	<b>【成果目標】</b> ・実施率48%	・町内の受診環境に合わせた受診医療機関の拡大を図る。春日部、杉戸との相互乗入れを検討する。	H28と29の特定健診受診者と未受診者の生活習慣病等一人当たりの医療費を比較した場合、受診者は131円減少。未受診者は717円上昇
<b>特定保健指導利用促進事業</b> 生活習慣改善に向けた取組みを促し、生活習慣病の予防を目的とした特定保健指導実施率の向上を目指し、実施方法及び実施内容等の分析、特定保健指導のイメージアップ強化、生活習慣改善に向けた歯科保健教室・健康教室の実施、生活習慣病重症化予防対策事業との連携を図る。	<b>【進捗状況】</b> ・実施率25.6%(対象者331名、終了者85名)	<b>【成果目標】</b> ・実施率25.6%(対象者331名、終了者85名)	<b>【成果目標】</b> ・実施率27%	実施率の向上を目指し、保健指導の実施方法を見直す。	現段階では医療費の比較は不可
<b>健康ステーション事業</b> 健康相談、健康教育の充実及び健康意識の向上を目的に誰もが気軽に健康相談、学習(知識の習得)、血圧や体脂肪率などの測定ができる場所を確保し、健康増進へのインセンティブとなる取組みを支援する。	<b>【進捗状況】</b> ・H30事業実施内容の検討及び予算確保	<b>【成果目標】</b> ・事業の実施	<b>【成果目標】</b> ・参加者数前年度より10%増加	事業の定着化	健康意識を向上することにより、様々な効果が期待できるが、H30年度新規事業のため、実績データ不足のため比較が不可